

平成 28 年（第 10 回）みどりの学術賞受賞者

みつ い しょう じ
三 井 昭 二（68 歳） 三重大学名誉教授

功績概要

森林と社会との関わりについて、木材生産等の経済活動と自然環境の保全が調和し両立する新しい道筋を提起した。具体的には、森林を市民社会の共有資産すなわち「コモンズ」としてとらえ直し、林業関係者や山村住民だけでなく都市住民を含めた社会的協働による森林管理のあり方を示した。これを通じて、林業の担い手としての都市住民の参画の可能性、市民生活や教育の場としての森林の重要性など、森林・林業政策や森林と社会との関わり方について新たな方向性を提示した。また、多くの著作等を通じて森林づくり活動への市民の参加を呼びかけ、みどりに対する国民の理解増進に寄与した。

いの うえ いさお
井 上 勲（66 歳） 筑波大学特命教授、筑波大学名誉教授

功績概要

植物プランクトン的一种であるハプト藻類が、光合成により自ら栄養を作り出すだけでなく、ハプトネマと呼ばれる鞭毛のような細胞器官によって餌の粒子を細胞内に取り込むという動物的な栄養摂取（食作用）を行っていることを発見した。このほか、捕食性の生物が藻類を取り込み共生することで生まれ、植物になる進化の初期過程にあると考えられる重要な生物「ハテナ」を発見したことなどにより、藻類をはじめとする生物の多様性を生み出した進化の道筋の解明に大きく貢献した。また、大量の藻類画像データをウェブ上に公開し一般国民が閲覧できるようにするなど、みどりに対する国民の理解増進に寄与した。

（年齢は平成 28 年 4 月 22 日現在）